

2010年1月～2026年12月に本院の皮膚科で、皮膚悪性腫瘍で手術を受けた方へ

研究 皮膚悪性腫瘍における癌関連遺伝子蛋白発現の解析 の実施について

1. 本研究の目的および方法

皮膚悪性腫瘍に対する治療法は限られており、また現有する治療法の効果は非常に限定的で、新たな治療戦略が求められています。新しい治療法の開発には、悪性腫瘍の発症機序、進展機序の解明が必要です。多くの悪性腫瘍で様々な遺伝子異常の解析が進められていますが、皮膚悪性腫瘍では研究が十分には行われていないのが現状です。各種皮膚悪性腫瘍における癌関連遺伝子蛋白の発現を解析することで皮膚悪性腫瘍発症・発症に関わる分子が明らかになれば、その分子をターゲットとした新たな治療開発へつながる可能性が出てきます。

そこで、2001年1月～2026年12月に本院の皮膚科で皮膚悪性腫瘍の手術を受けられた方の摘出標本を用いて癌関連遺伝子蛋白の発現を免疫染色で検出し、発現の検討を行う研究を計画しました。

研究全体の実施期間は、徳島大学病院生命科学・医学系研究倫理審査委員会の承認を経て所属機関の長より研究実施許可を得た日から2029年3月31日までです。予定症例数は300例です。

本研究は、徳島大学病院生命科学・医学系研究倫理審査委員会の承認を得たのちに徳島大学病院長の実施許可を得て実施しています。

2. 研究に用いる試料・情報の項目および保管方法について

カルテ番号、生年月日、イニシャル、病理検体番号などの個人を特定し得る情報は用いません。

皮膚悪性腫瘍のため本院皮膚科で手術を受けられた方の摘出組織を1cm³ほどの通常の診療診察に影響のない量を用いて研究を行います。また、組織で解析した標的分子の臨床的意義を調べるため手術前後の通常診察内で得られた情報(腫瘍の進展度、リンパ節転移、転帰、臨床症状など)も解析に使用する場合はカルテより収集します。

試料・情報は研究責任者の教室の鍵のかかる場所で適切に保管・管理します。

本研究では、試料・情報は徳島大学のみで取り扱い、外部への提供はいたしません。

3. 研究結果の公表について

本研究の結果は学会や雑誌等で公表することがありますが、公表に際しては特定の研究対象者を識別できないように措置を行った上で取り扱います。

4. 研究資金および利益相反管理について

本研究における特別な研究資金はありません。本研究は、本院の研究費のみを使用して実施されます。この研究の利害関係について徳島大学大学院医歯薬学研究部臨床研究利益相反審査委員会の審査を受け、承認を得ています。

5. 本研究への参加を拒否する場合

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

6. 研究責任者および連絡(問合せ)先

【研究機関】 徳島大学病院 皮膚科

【研究責任者】

皮膚科 准教授 村尾和俊

【連絡先】

徳島大学病院 皮膚科 准教授 村尾和俊

電話番号 088-633-7154(内線:3251)

メールアドレス kmurao@tokushima-u.ac.jp

本研究への参加に同意しない場合は、連絡先までご連絡下さい。